

新型コロナウイルス感染職員の発生について

今般、当センターに勤務する職員が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。皆様にはご心配をおかけいたしますが、感染拡大防止に全力で努めておりますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

1 勤務する職員の概要

看護師（病棟勤務） 50歳代 女性

当該看護師は新型コロナウイルス感染症患者が入院している病棟に勤務。

個人防護服の確実な着脱など感染防止対策を行っていたため、入院患者との濃厚接触者に該当していません。

2 経過、症状

4月20日（月） くしゃみ、鼻づまり。

4月21日（火） くしゃみ、鼻づまり。帰宅後、微熱あり。

4月22日（水） 味覚嗅覚がなくなったため、核酸増幅法検査（LAMP法）を実施。同日夕方、陽性判明。（出勤なし）

3. 行動歴

4月18日～21日まで出勤あり。4月21日、帰宅後、微熱あり。4月22日は勤務せず、自宅にて味覚嗅覚を認めなかったため、同日午後に核酸増幅法検査（LAMP法）を受検。夕方に陽性判明。4月23日、勤務せず自宅待機中。

4. 接触者

4月18日以後の接触者について確認したところ看護師1名を濃厚接触者と判断し、22日以降2週間の自宅待機としております。その他接触者情報については、保健所において調査をしているところです。なお、濃厚接触者の看護師1名を含む当該病棟の職員の健康状態について、現時点では体調の変化はありません。

5. 感染拡大防止策

濃厚接触者の看護師1名は、引き続き自宅待機の上、健康状態の確認を行います。

陽性判明した看護師の利用した可能性のある場所については、これまでも定期的に次亜塩素酸系消毒薬で消毒清掃を行っていますが、念のため、22日に改めて、消毒をしました。

6. 今後の診療体制

当該病棟は、新型コロナウイルス感染症対応病棟ですが、感染領域と非感染領域の動線管理が破たんした可能性は極めて低いと判断したため、病棟閉鎖は行いません。